

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

今期、最後となる行政視察

GWが明け、平常のリズムを取り戻されましたでしょうか。座間市では、毎年GWには大風祭りが開催されますが、今年は天候・風に恵まれず、長時間の掲揚は出来ませんでした。5月4日・5日の2日間にかけて多くの来場者でにぎわいました。

さて、私が副委員長を拝命している「座間市議会健康福祉常任委員会」では、明日から2日間に亘り、鴨川市と鴨川市の拠点病院となっている亀田総合病院へ行政視察へ行ってまいります。

目的は、亀田総合病院と鴨川市が行っている地域医療連携について、本市の状況と照らして参考となる部分を学びたいということにあります。

座間市議会では今年の9月に任期を向かえ改選となることから、当期の常任委員会行政視察については意見が分かれるところでしたが、当委員会には11期目を務める共産党議員と5期目(途中、県議選に出馬経験あり)を務める市民の党の議員が在籍し、イデオロギーの違うベテラン議員の考えを把握したいと、松橋委員長と私で懇願し実現しました。詳細については、次号にてご報告いたしたく存じております。

県主体の事業の進捗について

座間市相模が丘地域は、行幸道路と座間大和線、そして県道相模原二ツ塚・水窪線(通称『東海大相模通り』)という県道に囲まれた地域です。

それぞれ、渋滞解消のための車道拡幅工事や歩行者の安全・安心のための歩道の整備。電線の地中化など、神奈川県及び座間

市、相模原市や大和市と連携して進められておりますが、これらの直近の状況について報告したいと思います。

まず、行幸道路の歩道整備についてですが、相武台前駅方面へ向かって右側の歩道整備が進められておりますが、相模が丘一丁目5番地付近で拡幅工事が休止しておりますが、この件に関する県当局と土地所有者との協議では、歩道幅拡幅のための用地交渉について、幅2.5mまでの用地提供という条件で折り合いが付き、今後、詳細についての協議が進められると言うところまで進められております。

また、多くの皆さんの関心の高い東海大相模通りの道路整備・拡幅工事では、座間市民球場南側の「大黒倉庫株」さんの用地と相模が丘五丁目内の民有地、さらに大和市・相模原市にまたがる相模カントリークラブについて、これまで県当局の対応の不適切な部分も重なり交渉が硬直していましたが、用地交渉を慎重に進めた結果、土地所有者様の深い理解のもと、今年度に入り新たな動きがあり、相模カントリークラブ以外の件について、大きな前進が期待できる状況となっているようです。

その周辺の道路整備については、すでに先行して歩道の拡幅・道路の整備、電線の地中化などが進められており、小田急線踏み切り北側の歩道・車道の用地取得についても先行して座間市と土地所有者との交渉が完了し、隣接する小田急相模原駅西地区市街地再開発と合わせて、相模原市側の再開発に遅ればせながら、いよいよ座間市側の町づくりも大きく動こうとしています。

市民の待望であったそれぞれの事業について、今後も動きがあり次第、報告したいと思います。